

# 新潟県天然記念物 鳥の坂の大スギ 台風による消失

## — 山古志村種芋原 —

石 沢 進

1998年9月22日の夜の台風7号で山古志村種芋原の新潟県天然記念物「鳥の坂の大スギ」が根元から倒れて消失してしまった。たまたま、8月に生育状況の調査に訪れる機会があり、老木の与える神秘的で、長年刻んだきた歴史に触れて心の高まりを感じた後だけに大スギの消失は大変残念なことである。

県の天然記念物には、単木指定のものが多く、樹勢の衰えているものもあるが、山古志村種芋原の「鳥の坂の大スギ」は、8月12日の時点では外見上すぐ衰えて枯死するような状況でなく、枝葉も老木にしては、よく伸びている印象であった。樹の地上部周辺の樹皮にも大きな損傷は認められず、水分や養分の移動も良好であって枝葉を充分支えていると判断された。確かに一部に空洞が開いて樹幹の内部の枯死部分があることは確認できたが、枯死の広がりには外観から推定することが出来なかった。当日の風速が強か

ったこと、内部の腐敗が予想以上に広がっていたこと、などで根元から倒れる結果になったとみられる。

この冊子には、老木の最後の姿を「歴史の天然産物」として記録に残しておきたいと思い生存時の写真を掲載した。老木と一緒に写っている人との比較でその大きさが明らかである。写真1~3はいずれも1998年8月12日撮影。

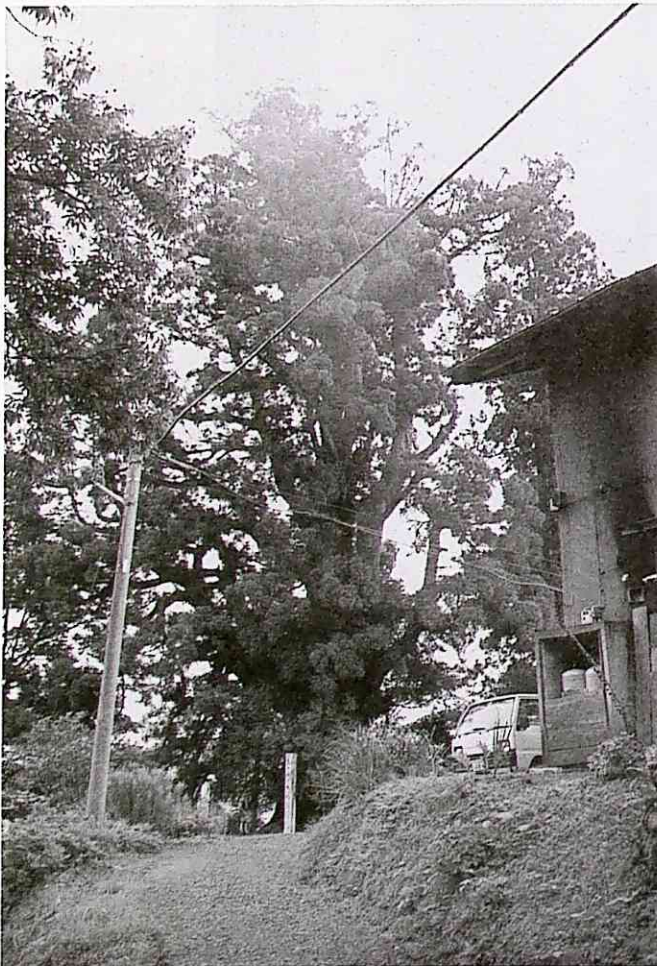


写真1

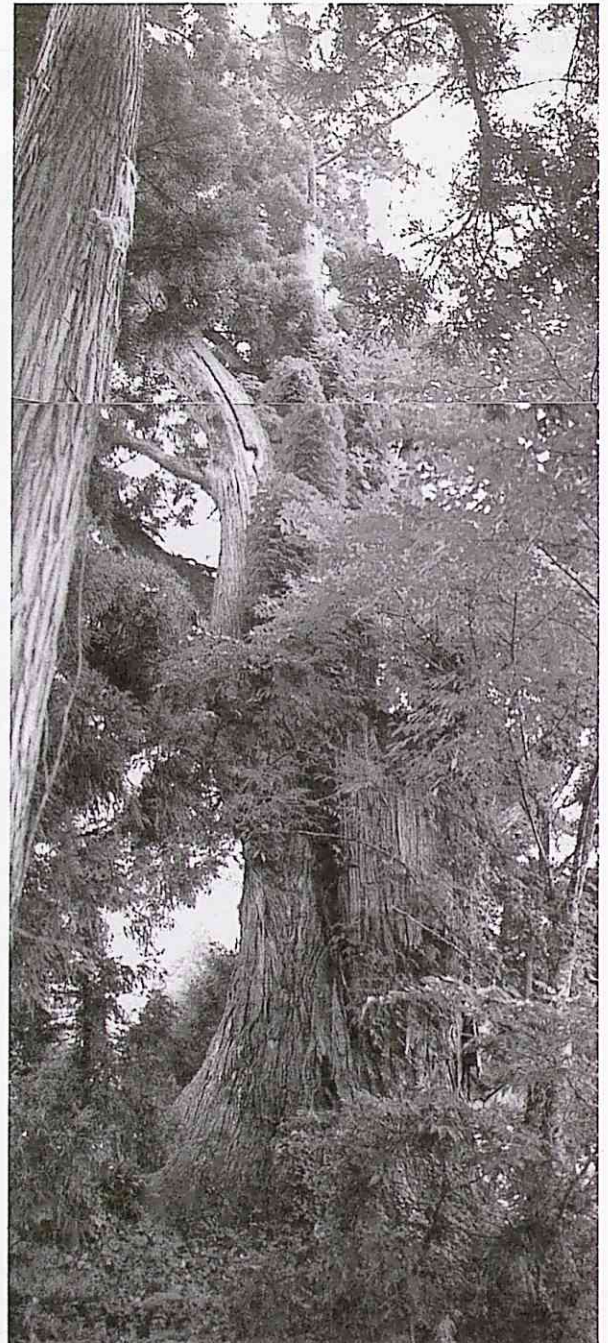


写真2



台風7号で県指定天然記念物の大杉が根元付近から折れ、車庫をつぶし、道路をふさいだ。23日午後、古志山古志村種芋原



### 台風7号

# 猛威のツメ跡

## 山古志の 大杉を倒す

二十三日夜、県内を吹き荒れた台風7号による猛烈な風で、古志山古志村種芋原の県指定天然記念物「鳥の坂の大スギ」が根元から倒れた。

大杉は、樹齢千年を超え、幹の周囲は約十二メートルあり、内部には直径数センチの空洞があり、強風に耐えきれなかったらしい。倒れた大木は近くの農家の倉庫兼車庫を直撃、建物と中の乗用車をめっちゃめちやに壊し、国道352号を一時通行止めにした。

近所の人には「ズシンとすごい音がした。怖くて朝まで眠れなかった」と話しながら、地域の守り神の壮絶な最期に肩を落としていた。

(台風関連記事23面に)



写真3